



県内にお住まいの65歳以上の皆さんに、交通安全意識を高めさせていただくとともに、耳慣れた秋田弁を活用して広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として、秋田弁を使った川柳を募集しました。応募作品67句の中から入選作品を紹介します。

あきた弁の“味ツコ”をじっくり堪能してたんせ！

最優秀賞

えがったな 今日も事故ねで みな笑顔
(良かったね 今日も事故なくて みんな笑顔)

湯沢市

佐々木 久さん

優秀賞

気つけられな 昔孫どき 今わどき
(気を付けてね 昔孫に 今は自分に (言っている))

東成瀬村

佐々木 省吾さん

佳作

あの車 止まてけるべは ケガのもと
(あの車が止まってくれらるだろうと思うのは危険です)

能代市

小野 真澄さん

家までは ベルトと気持こ ゆるめねで
(家までは ベルトと気持ち ゆるめないで)

横手市

嶋田 昭男さん

晚げあぐ 帽子靴こさき 反射材
(夜歩く 帽子と靴へ 反射材)

秋田市

鈴木 肇さん

うろだぐな 待てば信号 変わるがら
(あわてるな 待てば信号 変わります)

秋田市

真田 勢子さん

氣い付(つ)けてな 事故ねえぐ朝の 言葉(ことば)っこ
(気を付けて 事故無く朝の 言葉掛け)

横手市

阿部 清風さん

せめて今日一日だけでも事故はない

藤 咲子

交通安全「あきた弁川柳」に県内十六市町村から六十七句の応募があり、審査員五人による厳格な審査で入賞作品を決定しました。入選作品はいずれも交通安全を真摯に詠んだものばかりでした。

最優秀賞

「えがったな 今日も事故ねで みな笑顔」
心優しい作風で、ホツとします。家族はもちろん、事故のない日の笑顔は最高だと思いました。

優秀賞

「気つけれな 昔孫どき 今わどき」
学校へ行く孫達に言っていた事を今は、自分が言われる立場になっている様子が浮かんできます。家族の愛の出ている句だと思います。

佳作

「あの車 止まてけるべは ケガのもと」
心の油断。止まってくれるでしょうは危険だと、説得力のある作風です。

「家までは ベルトと気持こ ゆるめねで」
本当にそう思います。気のゆるみが事故の元ですから。シートベルトをちゃんとして、もちろんスマホがなくてもとらないで楽しい家庭に帰るのが一番！

「晚げあぐ 帽子靴こさ 反射材」

高齢者の夜歩きの交通事故防止には、反射材を付けるのが一番。帽子、そして靴まで車からよく見えるように！

「うるだぐな 待でば信号 変わるがら」

“うるだぐな”は、あわてるなの意味。赤信号だけど、まだ車が来ないからという安心が一番事故のもと。あわてず信号の変わるのを待ちましよう。

「氣い付(つ) けてな 事故ねえぐ朝の 言葉(ことば) つこ」

言葉かけひとつで事故を防ぐことを期待している。さりげなく“氣い付けてな”の優しさが出ている表現。事故防止をよびかけている作風です。

平成30年度交通安全作品コンクール「あきた弁川柳」審査会委員

- | | |
|---------|------------------------|
| 藤 咲子 | 「あきたの文芸」川柳部門選考委員 |
| 小 野 誠 | 一般社団法人秋田県交通安全協会専務理事 |
| 中 山 恭 幸 | 秋田県教育庁生涯学習課長 |
| 佐 藤 和 人 | 秋田県警察本部交通部首席参事官兼交通企画課長 |
| 高 橋 博 英 | 秋田県生活環境部参事兼県民生活課長 |

